

靴の歴史散歩 ⑦⑦

皮革産業資料館 副館長 稲川 實

神田の合同ビル（千代田区鍛冶町1-6-17）5階にある西村記念室の収蔵資料を、「靴の歴史散歩」⑥②から⑦⑥まで、15回にわたって紹介してきたが、目ぼしいものは報告も終えたので、今回をもってまとめとしたい。

もともと西村記念室の収蔵資料は、公開展示が目的ではないので、普段会議に出席している役員さんでも、当然のことながら収蔵資料の内容まで知る人は少ない。したがって、連載の意義はあったかと思う。

西村記念室収蔵資料一覧（順不同）

① 明治10年内国勸業博覧会 『褒状』

東京府下練馬村 靴職 福島縫太郎
昭和48年5月 福島叶之輔氏寄贈。

② 『製靴図集』 東京靴工同盟会蔵版 明治34年（21.7cm×15cm）

表紙裏に根津宮永町 佐々木靴店所有とあるところから、寄贈者は、東靴協会文京支部の佐々木千江吉氏と考えるのが妥当。

③ 『製靴工賃計算帳』 大正5年 銀座高橋靴店の通帳（16cm×12cm）

寄贈者は、東靴協会杉並支部の河合利夫氏で、亡父四久作氏が使用したものという。

④ 『製靴注文帳』 銀座第三街 伊勢勝売場（後の桜組）明治10年（24.5cm×16.5cm）

昭和39年西村翁の胸像除幕式に、西村家から靴連盟に記念として贈られたもの。

⑤ 『製靴読本』 東京靴同業組合 創立25周年記念出版 昭和10年
来歴は不詳。

⑥ 『被服事務工術要領』 陸軍被服工長学舎 明治25年（22.4cm×15.2cm）
来歴は不詳。

⑦ 『靴工科教程書 附録』 陸軍被服工長学舎 明治25年（サイズ同上）
来歴は不詳。

この他にも『西村勝三翁傳』の草稿「川崎紫山編」（第一編ノ下）（第二編）や、桜組用箋に書かれた営業書類（ファイル3冊分）などあるが、逐一の報告は無理なので、省略させていただきたい。

今回の閲覧に当って、日本靴連盟の飯村かつよ事務局長、東靴協会の井上覺子事務局長には、大変お世話になりました。ありがとうございました。



北品川東海寺大山墓地の西村家の墓所

森田一朗氏撮影・提供